

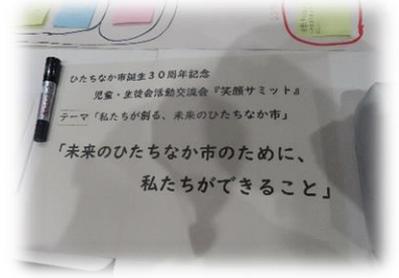


例年になく暑かった夏休みが終わり、学校に子どもたちの明るい笑顔と元気な歓声が戻ってきました。登校時に「おはようございます」と挨拶し、日焼けして一回り大きくなった姿がたくましく感じられました。

さて、9月から12月には、校外学習やオータムフェスティバル、持久走大会など、様々な学校行事もあり、一年の中でも最も充実した時期を迎えます。

今年の夏は、パリオリンピックに沸きました。その中で、スケートボード選手の堀米雄斗さんの、決勝5本目で成功した場面は特に、印象的でした。「1%も可能性があるなら」という言葉の中にある精神力の強さに驚きました。子どもたちに伝えている今年の学校のスローガンは、「あきらめずにチャレンジ 今の自分より一歩前へ」です。チャレンジする中に失敗はつきものです。くじけずチャレンジする心、その中で、一歩前へ進めようとする心を育てていきたいと思えます。前期後半がスタートしました。暑さが続きます。熱中症に気をつけて、また、生活のリズムを整えながら、学校生活を送ることができるよう支援していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

児童・生徒会活動交流会(笑顔サミット)



8月7日(水)に、笑顔サミットが、しあわせプラザホールで開かれました。このサミットは、ひたちなか市の小・中・義務教育学校・中等教育学校の児童生徒会が、一堂に会して、テーマに基づいた話し合いをします。今年、ひたちなか市30周年を記念し、テーマは、「私たちが創る、未来のひたちなか市」です。本校は6年生の児童が、3名参加しました。

中学校区に分かれて意見交流会を開き、「未来のひたちなか市のために、私たちがができること」を発表しました。自分たちの考えを伝えること、また、他校の考えを聞くことを通して、自分の考えを広げる良い機会になりました。また、ひたちなか市出身、ニューヨーク在住で作曲家・ピアニストの宮嶋みぎわさんが、「自分らしさが世界を変える」という演題で記念講演と演奏をしました。その中で市政30周年にあたり、ひたちなか市の歌を作曲し、歌を披露しました。講演も、演奏も、「自分らしさ」を大切にしてきた、みぎわさんの素晴らしさが感じられました。

全国学力・学習状況調査から

○ 6年生を対象に実施しました令和6年度全国学力学習状況調査の結果についてお知らせいたします。

【本校の平均正答率と全国平均正答率との差】

国語…下回っている 算数…下回っている

国語では、

- ・(物語文における)登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる問題
- ・(物語文における)人物像を具体的に想像できるかどうかをみる問題
等に課題が見られました。

算数では

- ・角柱、底面や側面に注目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題
- ・球の直径の長さや立方体の一辺の長さを捉え、立方体の体積の求め方を式に表せるかどうかをみる問題
- ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる問題
等に課題が見られました。

今後、課題を分析し、指導に生かしていきます。